

<p>議題 1</p>	<p>東部総合処理センター破砕選別施設建設工事（設計段階協議）</p>
<p>協議事項</p>	<p>色彩について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存焼却棟同様、本体建物外壁色は YR 系を基調とし、外壁下部が褪色しやすい有彩色であることも踏まえ、上下の塗分けにおいて明度差2程度以上確保することが望ましい。 ・塗料や建具については耐候性に留意し、美観維持に配慮することが望ましい。 ・建物形態が複雑であるため、これ以上、色彩による分節は多用しない方がよい。 <p>外構計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存植栽計画では、在来種で季節を感じられる樹種をランダムに配置しており、近隣の公園から連続した沿道の緑景観を形成している。本計画においてもこれらを踏襲し、既存との連続性を持たせ、密と疎が混じるようにする等、配置、樹種を検討すること。特に利用者の目に入りやすい箇所である敷地エントランス部分などには彩りある花木を配置し、華やかさを演出する計画となるよう配慮すること。また、敷地南側の新設緑地は、建物の遮蔽効果のある既存の常緑樹種の植栽を検討すること。
<p>その他 (質問・意見)</p>	<p>視点場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観配慮を検討する上で重要であるため、改めて主要な視点場について検討し、計画を進めるべきである。

議題 2	(仮称) Dプロジェクト西宮新築工事 (設計段階協議)
協議事項	<p>色彩計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁について、意匠の特徴に添った分節化など一定の配慮は見られるものの、全体に要素が多く、一つの建物としてのまとまりや一体感を損なう恐れが大きい。基調色の極端な対比を和らげることが望ましく、10YR9/0.5の高明度色を明度8程度に抑えておくのが良い。 <p>外構計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地南西の木調ルーバーについては、チープな印象にならないよう明度彩度の低いダークブラウン等の木調色を使用するのが良い。 ・国道2号線沿いのエントランスまわりは、メッシュフェンスの箇所を最小限とし、通りから築山等の雰囲気を感じられる計画とする方が良い。 <p>サイン計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況の寸法ではかなり圧迫感がある。全体のサイズを抑えるとともに、複数のテナントのサインを配置した際のバランスにも十分に配慮してほしい。 <p>植栽計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六甲山に向かう南北軸は楕円形や細長い形の樹木を選定し、東西軸はケヤキなどの横に広がるタイプで緑量を感じられるような樹種を選定することが望ましい。 ・南西角に配置しているサクラはできるだけ敷地の奥側に移動して複数本植樹し、その手前には桜を阻害しない常緑中木を配するのが良いので検討してほしい。 ・木調ルーバーの手前に位置する樹木は、季節を感じるような花木（常緑ヤマボウシ、アベリア等）を植えて賑わいを演出してほしい。 ・雄株のソヨゴ等であれば実がならず鳥害の心配も少ないため、検討してほしい。
その他 (質問・意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の形態意匠でもって、西宮の良い景観をつくるモデルになっていくことを今後も目指して検討してほしい。 ・外構図は今後もある程度変更されると考えられるので、本部会での意見の検討結果を事務局でしっかり確認してほしい。